

【表1-1】

《下北山村 橋梁長寿化修繕計画》

平成22年3月

奈良県下北山村産業建設課

1. 長寿化修繕計画の目的

1) 背景

○村が管理する道路橋（橋長 2 m 以上）は現在 71 橋あり、このうち橋長 15m 以上の橋は 23 橋です。

その 23 橋のうち、建設後の経過年数 50 年以上の高齢化橋梁が 3 橋 13.0% を占めています。

20 年後には、高齢化橋梁と架橋年度不明の橋梁（3 橋）を合わせて 14 橋 60.1% となり、急速に道路橋の高齢化が進みます。

○今後は、これまで以上に道路橋の補修や架替え時期の集中、費用負担の著しい増加集中が予測されます。

2) 目的

○このような背景から、限られた財源の中でより効率的・効果的な維持管理を、計画的に行っていくことが不可欠です

○コスト縮減を図るには、これまでの事後的な対応から予防的な維持管理に転換し、道路橋の長寿命化を図ることが必要となります。

○そこで、下北山村では、安全安心な交通基盤の保全とともに、将来的な財政負担の軽減と平準化を図るために「橋梁長寿命化修繕計画」を作成しました。

2. 対象橋梁

	1 級村道	2 級村道	その他	合計
全管理橋数	7	11	53	71
うち計画の対象橋梁数	7	6	15	28
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うち H21 年度計画策定橋梁数	7 (4)	6	15 (1)	28 (5)

○長寿命化計画の対象：下北山村が管理する橋梁すべて

○今回策定橋梁数：28 橋

・橋長 15m 以上の橋梁、1 級村道に架かる橋長 15m 以下の橋及び橋長 1.5 m 以下で緊急に点検が必要な橋梁 ()

3. 健全度の把握及び日常的な管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握に関する基本的な方針

○健全度の把握については、当村橋梁点検マニュアル（案）に基づいて定期的に点検を実施、橋梁の損傷を早期に把握する。

2) 日常的な管理に関する基本的な方針

○橋梁を良好な状態を保持するため、日常的な維持管理として当村橋梁点検マニュアル（案）に基づいた日常点検を実施します。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕架替えに係る費用の軽減に関する基本的な方針

○.本計画における損傷や劣化の事前予測に基づき、橋梁の予防的な修繕計画及び計画的な架替えを行うことにより、修繕及び架け替えにかかるライフサイクルコスト削減を図る。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検次期及び修繕内容・次期又は、架替え時期

表1-2による

(今回の定期点検の結果、判定A・B・とBに近いCが1橋梁であるので、交通安全上危険な橋梁から修繕を実施することとした。)

6. 長寿化修繕計画による効果

- .定期的に点検を実施し、適切な時期に維持修繕することで交通の安全性が確保される。
- .平成21年度に計画を策定した橋梁については、適切な時期の予防的な維持修繕の実施により概ね30年の長寿命化(更新時期の延長)を見込むものとする。
この場合、維持修繕及び更新に要する経費については、今後50年間で、事後的対策の場合総額27億2千万円(5.50千万円/年)に対し予防的対策の場合は10億8千万円(2.16千万円/年)となり、約6割の削減が見込まれる。
- .特定の時期に修繕及び更新の集中を分散することにより、予算の平準化を図れる。

7. 計画策定担当部署及び意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

- 1) 計画策定担当部署
下北山村産業建設課 TEL 07468-6-0001
- 2) 意見を聴取した学識経験者等専門知識を有する者
大阪市立大学大学院理学研究科
工学博士 原口 強 准教授